

令和7年度(令和7年4月入学)

兵庫県立大学大学院
理学研究科(生命科学専攻)
(博士前期・後期課程)

社会人学生募集要項

【連絡先】

郵便番号 678-1297
兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号

兵庫県立大学播磨理学キャンパス
経営部学務課
電話(0791)58-0102(直通)

令和7年度(4月入学)
兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
(博士前期課程)
社会人学生募集要項

本大学院理学研究科(生命科学専攻)においては、下記の要領により令和7年度(令和7年4月入学)の入学者を募集します。

1 募集人員

生命科学専攻 若干名

2 出願資格

企業・官庁等に在職している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該企業・官庁等から推薦を受けた者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（令和7年3月31日までに該当する見込みの者を含む。）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (10) 大学に3年以上在学した者で本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
（下記〔注1〕～〔注4〕を参照）
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限定する。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者
- (12) 本研究科において、出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達する者（下記〔注5〕を参照）

〔注1〕 出願資格(10)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行うので、該当者は、あらかじめ播磨理学キャンパス経営部学務課へ申し出て、次の「資格審査書類」を令和6年6月26日（水）までに提出すること。
なおこの場合は、資格審査が終了するまで出願書類の受理を保留する。

- ア 志望調書 …………… 本学所定の用紙
イ 在学大学長又は学部長からの「推薦書」 …… 様式は任意

〔注2〕 出願資格(10)の資格審査の対象となる者の要件は、「在学期間3年以上」のほかに次の2点とする。

- ア 令和6年3月末（2年次末）までに、当該志願者の所属学科（これに相当するものを含む。）における成績順位が上位約5%以内であり、かつ修得単位数が95単位以上であること。
イ 令和7年3月末（3年次末）までに、専門教育科目の単位を80単位以上、並びに卒業に必要な一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の単位を修得見込みであること。
なお、入学試験に合格した後に、これらの単位を修得することが出来ないことが確定した場合には、入学を取り消す。

〔注3〕 「在学期間3年」の中に休学期間は、含めない。ただし、在学留学制度などを利用して別の大学に在学した期間は、在学期間とする。

〔注4〕 出願資格(10)によって入学した者の学部学生としての身分は退学となり、大学の学部卒業が要件となっている各種試験では受験資格がないことになる。

〔注5〕 出願資格(12)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を必要とするので、該当者は、あらかじめ播磨理学キャンパス経営部学務課へ申し出て、「資格審査書類」（別途指示する。）を令和6年6月26日（水）までに提出すること。
なお、この場合は、資格審査が終了するまで出願書類の受理を保留する。

3 出願条件

出願者は、希望する研究指導教授とあらかじめ協議のうえ出願すること。

4 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入学願書 (写真票、受験票を含む。)	本学所定の用紙を使用し、写真票及び受験票に写真を貼付のこと。
②卒業証明書	様式は任意
③受験許可書	本学所定の用紙を使用し、企業・官庁等の所属長が作成したもの。
④成績証明書	最終学歴に係る大学等のもの。様式は任意
⑤志望理由書(英文)	本学所定の用紙
⑥研究計画書	本学所定の用紙
⑦業務報告書	卒業論文、一般研究論文等を有する者がそれらについて記したもの。様式は任意
⑧業務報告書	これまでに在籍した企業、官庁等における研究、技術関係業務の内容について記したもの。様式は任意
⑨受験票等返送用封筒	定型封筒に郵便番号、住所及び氏名を記入し、344円分の切手を貼付すること。
⑩入学考査料	30,000円 ゆうちょ銀行が令和6年7月1日以降に振り出した「普通為替証書」による。ただし、証書には何も記入しないこと。
⑪「入学手続書類」送付用封筒(角2号)	封筒に、送付を希望する住所、氏名(本学学生については学生番号及び講座名を含む)を記入する。切手は貼付不要。

5 選抜方法

入学の選考は、口述試験、面接試験・TOEIC又はTOEFLテスト及び書類審査の結果を総合して行う。

(1) 実施年月日

令和6年8月20日(火)

(2) 口述試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
8 月 20 日 (火)	10 時～12 時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

(3) 面接試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
8 月 20 日 (火)	13 時 30 分～17 時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

※TOEIC 又は TOEFL のいずれかをあらかじめ受験した上で、その公式認定証 (TOEIC) 又は公式スコアレポート (TOEFL) の原本を必ず学力試験時に持参すること。公式認定証又は公式スコアレポートは、入学願書提出期限から3年以内に実施されたものを有効とする。なお、これらの書類は学力試験の前に原本を確認、コピーを取得し、学力試験終了後に返却する。

6 合格発表

令和6年8月30日(金) 午後4時

※ 合格者には郵便により通知する。
また、参考情報として同時刻頃より本理学部・大学院ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

**令和7年度（4月入学）
兵庫県立大学大学院理学研究科（生命科学専攻）
（博士後期課程）
社会人学生募集要項**

本大学院理学研究科（生命科学専攻）においては、下記要領により令和7年度（令和7年4月入学）の入学者を募集します。

1 募集人員

生命科学専攻 若干名

2 出願資格

企業・官庁等に在職している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該企業・官庁等から推薦を受けた者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（令和7年3月31日までに該当する見込みの者を含む。）
（下記〔注〕を参照）
- (8) 本研究科において、出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達する者
（下記〔注〕を参照）

[注] 出願資格(7)、(8)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を必要とするので、該当者は、あらかじめ播磨理学キャンパス経営部学務課で「資格審査書類」の指示を受け、研究指導を希望する教授と協議し、審査を受けた上で、令和6年6月26日（水）までに播磨理学キャンパス経営部学務課へ提出すること。
なおこの場合は、資格審査が終了するまで出願書類の受理を保留する。

3 出願の条件

出願者は、希望する研究指導教授とあらかじめ協議のうえ出願すること。

4 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入学願書 (写真票、受験票を含む。)	本学所定の用紙を使用し、写真票及び受験票に写真を貼付のこと。
②修士・博士前期課程修了証明書	様式は任意
③学部、大学院の成績証明書	様式は任意
④受験許可書	本学所定の用紙を使用し、企業・官庁等の所属長が作成したもの。
⑤承諾書	本学所定の用紙に、本学大学院専攻(研究指導教授)の承諾を得ること。
⑥修士課程等における研究概要	本学所定の用紙に、出身大学院における研究概要を記入したもの
⑦博士後期課程における研究計画書	本学所定の用紙
⑧受験票等返送用封筒	定型封筒に郵便番号、住所及び氏名等を記入し、344円分の切手を貼付すること。
⑨入学考査料	30,000円 ゆうちょ銀行が令和6年7月1日以降に振り出した「普通為替証書」による。ただし、証書には何も記入しないこと。
⑩「入学手続書類」送付用封筒(角2号)	封筒に、送付を希望する住所、氏名(本学学生については学生番号及び分野名を含む)を記入する。切手は添付不要。

5 選抜方法

入学の選考は、口述試験及び書類審査の結果を総合して行う。

口述試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
令和6年8月21日(水)	10時～15時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

6 合格発表

令和6年8月30日(金) 午後4時

- ※ 合格者には郵便により通知する。
また、参考情報として同時刻頃より本理学部・大学院ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

博士前期課程、後期課程共通事項

1 出願方法

出願者は、必要書類等を一括して下記の書類等提出先へ郵送又は持参すること。

<p>書類等提出先</p> <p>〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号</p> <p>兵庫県立大学 播磨理学キャンパス 経営部学務課</p> <p>TEL(0791)58-0102 FAX(0791)58-0131</p>

郵送出願の場合は、封筒に必ず「理学研究科(生命科学専攻)社会人学生(令和7年4月入学)出願書類在中」(前期課程又は後期課程を明記すること。)と明記し、書留速達で送付すること。

2 出願期日

令和6年7月23日(火)から7月30日(火)まで

各日とも受付時間帯は、午前9時から12時まで、午後1時から4時までとする(ただし、土曜日、日曜日は除く。)

なお、郵送の場合は、令和6年7月30日(火)午後4時までに必着のこと。

3 入学料及び授業料

(令和7年度入学者徴収予定額)

区 分		入学期	4月	計
入 学 料	甲(県内)	282,000円	—	282,000円
	乙(県外)	423,000円	—	423,000円
授 業 料		267,900円	267,900円	535,800円

(注)

- (1) 入学料、授業料の金額が改正された場合は、改正後の金額による。
- (2) 甲は、次の各号のいずれかに該当する者に、乙はその他の者に適用する。
 - ア 入学の日(令和7年4月1日)の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者
 - イ 配偶者又は1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者
 - ウ 兵庫県立大学の学部から本大学院博士前期課程に引き続き入学する者
- (3) 兵庫県立大学の大学院博士前期課程を修了し、引き続き本大学院博士後期課程に進学する者は、下記による。
- (4) この他に後援会費が必要です。

*兵庫県立大学の大学院博士前期課程を修了し、引き続き本大学院博士後期課程に進学する者

(令和7年度入学者徴収予定額)

区 分	入学期	4月	計
入 学 料	—	—	—
授 業 料	267,900 円	267,900 円	535,800 円

※、ただし、後援会費は別途必要。

4 注意事項

既に納付された入学考査料は、理由の如何にかかわらず返還しない。

長期履修制度の導入について

1. 趣旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象としています。事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。

2. 出願資格

長期履修学生として出願することができる者は、入学資格を有する者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 職業を有する者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生活を立てている者)
- (2) 育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) 病気等その他やむをえない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科が認めた者

3. 履修期間

長期履修学生の履修期間は、博士前期課程(修士課程)にあつては3年以上4年まで、博士後期課程にあつては、4年以上6年までとなります。なお、長期履修を認める期間は1年単位です。

4. 長期履修制度に係る授業料

兵庫県立学校授業料等徴収条例で定められた大学の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修学生として認められた履修期間(以下、「長期履修期間」という)の年数で除した額とします。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算されます。

$$\text{長期履修学生の年間の授業料} = \frac{\text{通常の授業料} \times \text{標準修業年限}}{\text{長期履修期間の年数}}$$

5. 長期履修期間の延長

長期履修期間の延長は、認められません。

6. 長期履修期間の短縮

長期履修学生が長期履修期間を満了しないうちに課程を修了する必要単位数を取得する見込みのある場合は、長期履修期間の短縮をすることができます。

なお、履修期間を短縮する場合は、短縮を認められるときに短縮に係る授業料の差額が必要となります。

※ 長期履修を希望する者は、事前に志望分野の教授の説明を受けること。

生命科学専攻分野研究一覧

令和6年4月現在

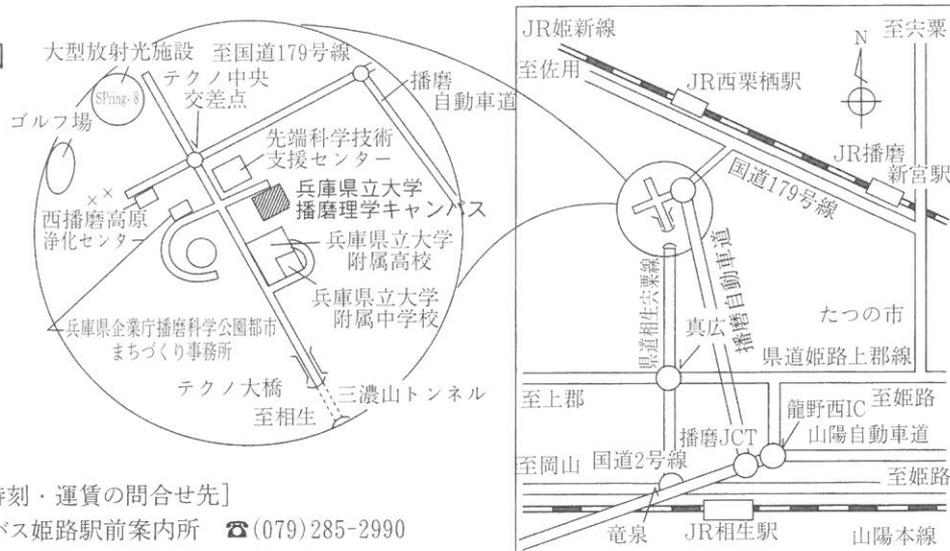
専攻	部門	分野	研究内容
生命科学専攻	生物物質構造解析学	生物物質化学 I 教授 稲木 美紀子 准教授 衣斐 義一	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショウジョウバエを用いた形態形成の研究 ・ 上皮細胞の移動能獲得機構の解明 ・ 膜タンパク質の細胞内局在制御機構 ・ 生体膜に局在する生体防御タンパク質群の遺伝子発現と機能の制御
		生物物質構造学 I 教授 緒方 英明 准教授 柴田 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物の細胞機能を維持するタンパク質群の構造化学 ・ 高等生物細胞のタンパク質間相互作用の X 線構造生物学 ・ 味覚修飾効果を持つタンパク質の作用機構解明 ・ 産業応用可能な有用酵素の構造機能相関の研究
		生物物質構造学 II 教授 久保 稔 准教授 柳澤 幸子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間分解分光計測による酵素反応の動的解析 ・ タンパク質アロステリーの生物物理学 ・ 表面増強振動分光法の開発とタンパク質の構造機能計測 ・ 二機能性タンパク質がもつ天然変性領域の動的構造研究
		細胞制御学 II 教授 當舎 武彦 准教授 村本 和優	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動的構造解析による金属酵素の反応機構解明 ・ 細胞呼吸を担う酵素の構造と機能の研究 ・ タンパク質間相互作用による一酸化窒素動態制御機構の解明 ・ 哺乳動物の鉄吸収に関わるタンパク質の構造生物学
		生物物質化学 II 教授 吉田 秀郎 准教授 佐々木 桂奈江	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルジ体ストレス応答の研究 ・ 小胞体ストレス応答の研究 ・ 細胞小器官の量的調節機構の研究
	生物物質機能解析学	分子機械学 教授 吉久 徹 准教授 井澤 俊明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 真核生物の tRNA をはじめとする低分子 RNA の動態研究 ・ mRNA の機動的な翻訳制御・品質管理に関する研究 ・ 異常タンパク質の品質管理によるオルガネラ恒常性維持機構 ・ 植物細胞における原形質流動の機構
		生体情報学 II 教授 西谷 秀男 (R7.3 定年退職) 准教授 塩見 泰史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 染色体構造安定性の新規な制御機構 ・ 染色体制御とゲノム維持機構
		生体分子生合成 教授 水島 恒裕 准教授 山内 大輔	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユビキチン修飾により制御される生命現象の構造生物学的研究 ・ 病原細菌タンパク質の構造機能研究 ・ Spring-8 マイクロ CT を使った植物細胞・組織の 3D イメージングの研究 ・ 植物の細胞分裂に関与する分子の解析

生命科学専攻	生体物質機能解析学	情報理学研究室 教授 大岩 和弘 准教授 尾嶋 拓	<ul style="list-style-type: none"> ・分子動力学シミュレーションを用いた生体分子メカニズムの解明 ・スーパーコンピュータを用いた創薬応用計算および材料科学計算 ・拡張アンサンブル法や機械学習に基づいた計算アルゴリズムの開発 ・大規模並列計算用シミュレーションソフトの開発
	細胞機能解析学	細胞機能学 教授 生沼 泉 准教授 廣瀬 富美子 (R7.3 定年退職)	<ul style="list-style-type: none"> ・生体内分子スイッチ低分子量Gタンパク質のシグナル研究 ・脳神経細胞やがん細胞の形態や運動の調節機構の研究 ・網膜変性疾患の分子機序の解明 ・クロマチン構造変換による遺伝子発現調節機構 ・分裂期における核ラミナとクロマチンの相互作用機構
		細胞構造学 教授 宮澤 淳夫 准教授 菓子野 康浩	<ul style="list-style-type: none"> ・神経筋接合部における神経情報の伝達機構の研究 ・電子顕微鏡法による生体分子の構造と機能の解析 ・光合成電子伝達系の構造・機能と調節機構 ・微細藻類の光合成機能の解析および環境問題解決への応用利用系の開発
		生体情報学Ⅰ 教授 八田 公平 准教授 幸長 弘子	<ul style="list-style-type: none"> ・脳・器官の発生・機能と、行動の分子遺伝学 ・脳腸相関および腸神経系の発生、機能、再生機構 ・トランスジェニック・ゼブラフィッシュと SPring-8 高解像度マイクロナノ CT を用いた器官発生のイメージング解析 ・魚類の咽頭顎の運動と、脊椎動物の摂食行動の進化 ・マウス脳における神経回路・活動観察
		細胞制御学Ⅰ 教授 梅園 良彦 准教授 餅井 真	<ul style="list-style-type: none"> ・プラナリアの再生制御機構 ・アフリカツメガエル幼生の再生制御機構 ・生殖系幹細胞の分化制御機構
	地球環境科学	地球科学 教授 後藤 忠徳 講師 萩谷 健治	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球のダイナミクスと地震・火山現象の理解 ・地下可視化技術の開発と資源探査・環境保全への適用 ・鉱物の X 線回折法による研究

連携大学院	生体物質構造解析学	生体高分子動的構造解析学 客員教授 山本 雅貴 客員教授 吾郷 日出夫 国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター (佐用町光都〔播磨科学公園都市内])	<ul style="list-style-type: none"> ・SPring-8 蛋白質結晶構造解析ビームラインの高度化研究 ・クライオ電子顕微鏡による生体高分子の単粒子解析 ・蛋白質構造解析での新規解析手法の研究・開発 ・新規開発技術の生体高分子構造機能研究への応用
	生体物質機能解析学	生体高分子超精密計測学 客員准教授 佐藤 耕世 客員教授 大岩 和弘(兼任) 国立研究開発法人情報通信研究機構 構未来 ICT 研究所 (神戸市西区)	<ul style="list-style-type: none"> ・ショウジョウバエの行動遺伝学研究 ・環境-遺伝子相互作用の神経機構 ・電気生理学的手法や蛍光イメージングによるニューロンの生理機能の解析 ・シングル・セル RNA-seq による遺伝子発現の解析 ・ゲノム編集や光遺伝学によるニューロンの可視化と操作 ・高精度な解析システムによる行動の定量化・評価
	細胞機能解析学	細胞膜超分子複合体機能解析学 客員教授 杉本 宏 客員准教授 竹下 浩平 国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター (佐用町光都〔播磨科学公園都市内])	<ul style="list-style-type: none"> ・SPring-8 と SACLA を利用した金属酵素の構造機能研究 ・ヘムや金属イオンの輸送を担うタンパク質の構造機能研究 ・イオンチャネルの構造機能研究 ・核内超分子複合体の構造機能研究
		発生・再生学 客員教授 林 茂生 客員准教授 清成 寛 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター (神戸市中央区)	<ul style="list-style-type: none"> ・ショウジョウバエの形態形成研究 ・発生工学技術を用いた遺伝子改変動物の開発

理学部試験会場（播磨理学キャンパス）案内図

(1) 所在地略図



[バス時刻・運賃の問合せ先]

神姫バス姫路駅前案内所 ☎(079)285-2990

神姫バス相生営業所 ☎(0791)22-5180

JR相生駅南側より播磨科学公園都市（SPRING-8）行き神姫バス乗車「県立大理学部前」下車（乗車時間約30分）（1日約30便）

JR播磨新宮駅前より播磨科学公園都市行き神姫バス乗車「テクノ中央」下車（乗車時間約20分）（1日4便）

(2) 建物配置図



前期(社会人)

令和7年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
博士前期課程 社会人学生 入学願書

受験番号	※	志望専攻	専攻				
フリガナ					本 籍 〔 〕 県名 (外国人の場合は国名)		
氏名							
生年月日	西暦	年	月	日生		性別	男・女
出願資格	大学		学部	科	卒業・卒業見込		
第1志望分野			第2志望分野				
第3志望分野			※第3志望まで記入のこと。 記入のない場合は、志望がないものとみなす。				
本人の住所	〒			電話()	-		入学審査料 領収印
父母等 連絡先	氏名			志願者との 続柄			※
	現住所	〒			電話()	-	

※裏面もすべて記入すること。

前期(社会人)

令和7年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)

博士前期課程 社会人学生 写真票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
生年月日	西暦 年 月 日生
出身大学	大学 学部 科
写真貼付欄	
受験票に貼付した ものと同一である こと。	
入学審査料 領収印	

前期(社会人)

令和7年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)

博士前期課程 社会人学生 受験票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
生年月日	西暦 年 月 日生
出身大学	大学 学部 科
写真貼付欄	
写真(出願前3か月 以内に撮影した正面 無帽上半身タテ4.5cm ヨコ3.5cm)を貼付す ること。	
入学審査料 領収印	

学 歴	西暦	年	月	大学入学	◎注 意 1 性別及び出願資格の欄の該当文字を○で囲むこと。 2 ※印のところは記入しないこと。 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること。 4 学歴は大学入学時から記入すること。 5 この用紙は切り離さないこと。
	西暦	年	月	大学卒業 (見込)	
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
職 歴	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		

前社

受 験 許 可 書

兵庫県立大学長 様

このたび、_____が兵庫県立大学大学院理学研究科

_____専攻（博士前期課程）を受験することを許可します。

なお、本人が兵庫県立大学大学院理学研究科に入学した場合は、
在職のまま在学することを認めます。

令和 年 月 日

（所属・職名）

（氏 名）

印

志 望 調 書

志望専攻名

氏 名

研究したい題目

飛び級して博士前期課程を志望する理由：

飛び級：出願資格(10)による者のみ提出すること

前社

志望理由書

志望研究科名	理学研究科 生命科学専攻
--------	--------------

企業・官庁等名	
所属部課名	
役職名	

ふりがな	
氏名 (和文名)	

志望理由

(注) 志願者が自筆又は word 等で 10 ポイント以上の大きさの文字で記入すること。

前社

博士前期課程における研究計画書

専攻

氏名

研究題目

研究計画

入学試験出願資格認定申請書

兵庫県立大学大学院 _____ 理学研究科長 様
 兵庫県立大学大学院理学研究科（ _____ 専攻）（ _____ 課程） _____ 入
 学試験に出願を希望します。

ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな

氏名 _____ 印 _____ 男・女
 _____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

現住所	TEL() -
-----	----------

現職	勤務先	
	職名	
	所在地	TEL() -

学歴（高等学校卒業から詳細に記入願います。）

_____年 _____月 _____日	_____高等学校卒業
_____年 _____月 _____日	

職歴（研究・開発の業務内容がわかるように詳細に記入願います。）

_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	

学会その他における活動状況

_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	

志望分野名（カッコ書きで担当教授名も記入願います。）

第 1 志 望	
第 2 志 望	
第 3 志 望	

研究活動報告書（その2）

氏名 _____

著者・学術論文等の題名（注）	著者名又は発表者名	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	巻、号、頁（年）又は発表の年月

後期(社会人)

令和7年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
博士後期課程 社会人学生 入学願書

受験番号	※		志望専攻	専攻			
フリガナ						本 籍	県名 (外国人の場合は国名)
氏名							〔 〕
生年月日	西暦	年	月	日生	歳		
出願資格	大学		学部	科	卒業・卒業見込		
第1志望分野			第2志望分野				
第3志望分野			※第3志望まで記入のこと。 記入のない場合は、志望がないものとみなす。				
本人の住所	〒					電話()	入学審査料 領収印
父母等 連絡先	氏名			志願者との 続柄	※		
	現住所	〒					電話()

※裏面もすべて記入すること。

後期(社会人)

令和7年度(4月入学)
兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
博士後期課程 社会人学生 写真票

受験番号	※			
フリガナ				
氏名				
生年月日	西暦	年	月	日生
出身大学	大学	学部	科	
写真貼付欄				入学審査料 領収印
受験票に貼付した ものと同一である こと。				

後期(社会人)

令和7年度(4月入学)
兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
博士後期課程 社会人学生 受験票

受験番号	※			
フリガナ				
氏名				
生年月日	西暦	年	月	日生
出身大学	大学	学部	科	
写真貼付欄				入学審査料 領収印
写真(出願前3か月 以内に撮影した正面 無帽上半身タテ4.5cm ヨコ3.5cm)を貼付す ること。				

学 歴	西暦	年	月	大学入学	◎注 意 1 性別及び出願資格の欄の該当文字を○で囲むこと。 2 ※印のところは記入しないこと。 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること。 4 学歴は大学入学時から記入すること。 5 この用紙は切り離さないこと。
	西暦	年	月	大学卒業 (見込)	
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
職 歴	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		

後社

受験許可書

兵庫県立大学長 様

このたび、_____が兵庫県立大学大学院理学研究科

_____専攻（博士後期課程）を受験することを許可します。

なお、本人が兵庫県立大学大学院理学研究科に入学した場合は、在職のまま在学することを認めます。

令和 年 月 日

(所属・職名)

(氏 名)

印

後社

承 諾 書

志願者氏名

上記の者が、兵庫県立大学大学院理学研究科_____専攻に
入学した場合、その研究指導を行うことを承諾する。

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院_____理学研究科

研究指導教授

印

後社

修士課程等における研究概要

修士課程等

専攻

氏名

研究題目

研究概要

後社

博士後期課程における研究計画書

専攻

氏名

研究題目

研究計画

入学試験出願資格認定申請書

兵庫県立大学大学院 _____ 理学研究科長 様
 兵庫県立大学大学院理学研究科（ _____ 専攻）（ _____ 課程） _____ 入
 学試験に出願を希望します。

ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな

氏名 _____ 印 _____ 男・女
 _____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

現住所	TEL() -
-----	----------

現職	勤務先	
	職名	
	所在地	TEL() -

学歴（高等学校卒業から詳細に記入願います。）

_____年 _____月 _____日	_____高等学校卒業
_____年 _____月 _____日	

職歴（研究・開発の業務内容がわかるように詳細に記入願います。）

_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	

学会その他における活動状況

_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	
_____年 _____月 _____日	

志望分野名（カッコ書きで担当教授名も記入願います。）

第 1 志 望	
第 2 志 望	
第 3 志 望	

